

審議中

こんな質疑がありました

問 やすらぎ苑の時間外の申し込みは

Q やすらぎ苑への申し込みが、休日・時間外でもできるようにするが、具体的な方法、実施時期、住民への周知は。

A 住民課長
利用者が、電話で、役場の支所、森林組合、やすらぎ苑のいずれかに電話すれば、先着順に予約できる。実施時期は今

年の十二月の予定。広報やチラシで周知する。

Q 国道一八二号線坂瀬川地区の用地交渉の状況と解決の時期は。

A 建設課長
用地が複雑で、解決できている土地は十七、十八年度で登記する。十九年以降は司法に委ねるが一日も早く完了するよう努力する。

問 災害復旧を迅速に

Q 災害復旧は住民にとって最緊急を要するものである。今年度末までに復旧との説明である。業者の協力を得て、工期を圧縮して、もっと迅速に対応できないか。

A 状況はいろいろあるが、緊急を要するものについては十月中に発注し、早急に復旧したい。

問 コピー使用料が高すぎる

Q 行政機関のコピー使用料が一枚二十円、民間は十円、算定の根拠は。

A 総務課長
旧町村が二十円で

あった。リース料、用紙代等を勘案したものである。

Q 周辺地域は公民館しかコピーがなく、振し

興会や公的団体は資料づくりに困っている。民間の倍価は住民泣かせの典型例ではないか。

A 町長
年度中途で変更はできないが検討する。特に公的に近い団体の事務処理については見直す必要があるのではないかとと思う。



国道 182 号線



災害

問 「食彩工房神石」改修について

Q 食彩工房神石の増築が予算計上されているが目的は何か。もう少し大規模にしないと利益が出ないし、特産として成り立たないのでは。

A 産業課長
高原町に適したすばらしい特産物をまず創る事を目的に増築する。農産物の加工施設が有効利用できるよう加工品



食彩工房神石（三和・光徳）

は古漬け一品に絞り、樽を現在の約二倍の百三十五個設置する。成功すれば規模を大きくしたい。

Q 情報ネットワークの構築にはユニバーサルサービスの充実が重要課題ですが、情報提供に制限がある「防災無線」よりも、利用度の高い「有線」の方が適切と思うが。

A 企画課長
現在、情報通信基盤整備検討委員会で協議中だが、合併協定にて検討した「オフトーク」は、NTTより部品のメンテナンスが困難と言われ断念した。

「有線」は三和地区に一億六千万円（昭和六十一年）で導入されており、現在年間改修経費が七百九十万円程度必要で、年々増加傾向にある。委員会の意見では、総合的に判断して行政ネットワークの構築が出来るデジタル方式の「防災無線」が有力だが、現在検討中である。

採択された意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

提案者 松本 彰夫 議員
賛成者 村上 克朗 議員

地方分権が叫ばれ、三位一体改革が進められていますが、地方自治体では、仕事は押しつけられ、財源は保障されず、大変厳しい状況になっています。

本町においても、交付税は本年度一般会計で、五十四億五千万円と、約五十一%を占めています。

少子高齢化が進み、大きな企業もなく自主財源の乏しい中、多様化する住民の要求に応えるためにもこれ以上の交付税の削減は深刻な問題であります。

新年度予算において、これ以上地方自治体に負担を増やさないうよう、地方財政の充実強化を国に対し強く要望するものです。

提出された請願書

町道能万寺間谷線道路改良に関する請願書

提案者 福永自治振興会滝合班
班 長 樋村 良 幸
紹介議員 佐伯 卓 師 議員
久保田 龍 泉 議員